

地下水モニタリング調査について

1. 目的

埋戻事業の周辺地下水への影響を事前に把握するため地下水位の挙動及び水質等を継続して調査する。

2. 業務内容

① 調査対象井戸

平成15年度	既存事業所井戸	6箇所	
	長尾組、富士産業開発社、長池工業、城南工建、伊藤組 京都福田		
	公社新設井戸	1箇所	
	長尾組、		
平成16年度	既存事業所井戸	6箇所	※前年度と同じ
	公社新設井戸	2箇所	
	長尾組、長池工業		
平成17年度	既存事業所井戸	6箇所	※前年度と同じ
	公社新設井戸	2箇所	※前年度と同じ
平成18年度	既存事業所井戸	6箇所	※前年度と同じ
	公社新設井戸	3箇所	
	長尾組、長池工業、川島工業		
平成19年度	既存事業所井戸	6箇所	※前年度と同じ
	公社新設井戸	3箇所	※前年度と同じ

② 調査項目

簡易測定項目	外気温、水位（新設井戸のみ）、電気伝導度、水素イオン濃度、水温、COD、透視度、色、臭気種、臭気強度
主要イオン分析	硫酸イオン、塩素イオン、炭酸イオン、全窒素、Mg、Na、K、Ca、砒素、総水銀

3. 委託機関

㈱京都自然史研究所

※19年度からは、既存事業所井戸（6箇所）の水質検査は、いであ㈱

4. 今日までの環境基準に係る結果

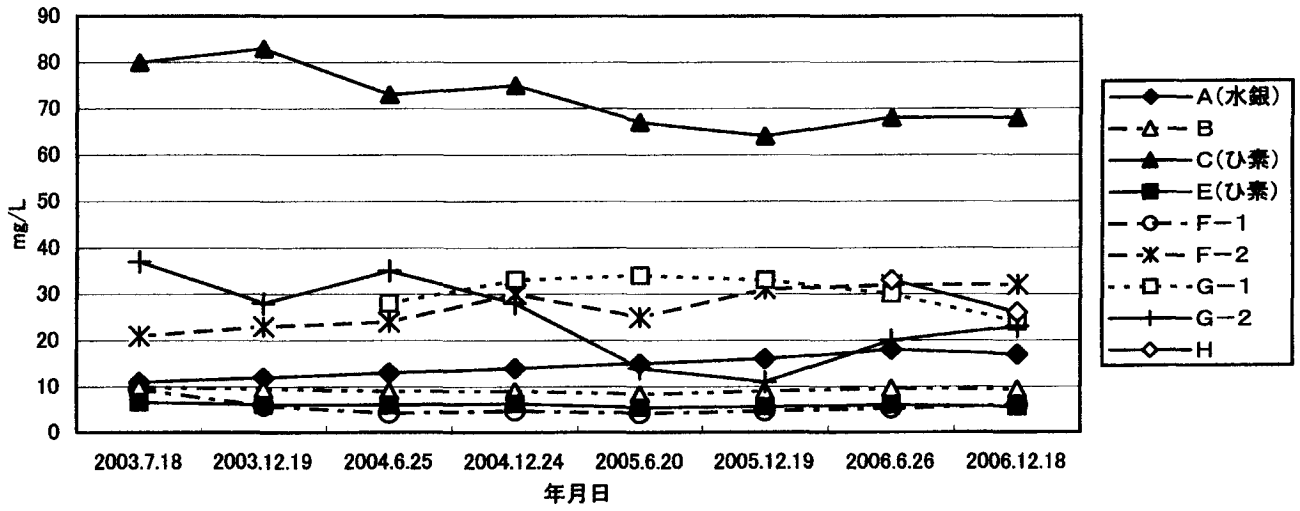
別紙のとおり環境基準を超える砒素あるいは水銀が検出されている。

水質調査分析結果のまとめ (砒素・水銀)

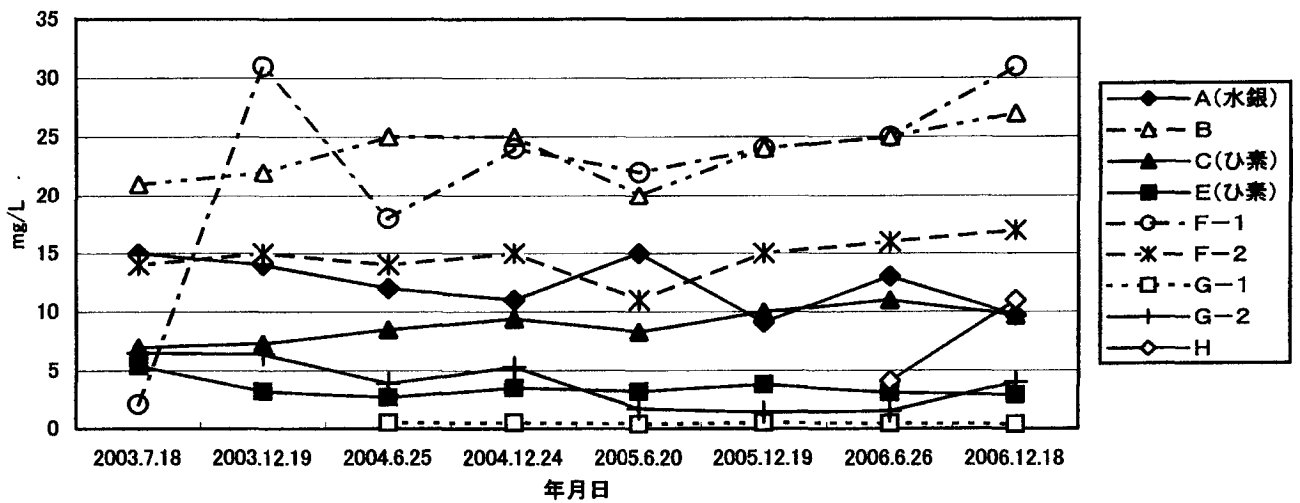
		砒素検査結果(環境基準値0.01)		水銀検査結果 (環境基準値0.0005)	備考
年度	調査日	C事業所	E事業所	A事業所	
		既存井戸の深さ160m 砂利洗浄、昭和61年設置	既存井戸の深さ352m 平成3年設置	既存井戸の深さ88m 砂利洗浄、タイヤ洗い、 昭和40年設置	
平14年度	平14.8.5	基準値未満(0.008)	基準値未満(0.005)		
	15.2.7	基準値未満(0.005)	基準値未満(0.008)		審議会発足15.3.19
平15年度	15.7.18	定量下限未満	基準値未満(0.007)	定量下限未満	第1回定期検査
	15.12.19	"	定量下限未満	"	第2回定期検査
平16年度	16.6.25	"	"	"	第1回定期検査
	16.12.24	"	基準値未満(0.008)	"	第2回定期検査
平17年度	17.6.20	基準値未満(0.006)	基準値未満(0.009)	"	第1回定期検査
	17.12.19	0.022	0.011	"	第2回定期検査
	再検査 18.1.31	0.014	0.010		緊急水質調査(砒素)
平18年度	再々検査	ろ過前 基準値未満(0.006)	ろ過前 基準値未満(0.007)		緊急水質調査(砒素) 青谷川15箇所も実施
	18.4.28	ろ過後 基準値未満(0.005)	ろ過後 基準値未満(0.007)		
	18.6.26	基準値未満(0.006)	基準値未満(0.008)	定期観測口 0.0012	第1回定期検査 水銀調査は定期観測口のみ
	18.8.29			①定期観測口、定量下限未満 ②原水口、" ③青谷川、"	緊急水質調査(水銀) 所内2箇所、青谷川1箇所
	18.9.20	0.013	0.012		第2回定期検査
	18.10.13	0.016	0.017		緊急水質調査(砒素)、青谷川1箇所も 市井戸3箇所と大井戸のダイアグラム
	18.11.10	0.019	0.014	①定期観測口、定量下限未満 ②原水口、" ③青谷川、"	緊急水質調査(砒素、水銀) 青谷川もそれぞれ1箇所 市井戸3箇所と大井戸のダイアグラム
	18.12.18	0.027	0.015	定期観測口 0.0007	第3回定期検査 水銀調査は定期観測口のみ
	19.1.19	0.028	0.011	①定期観測口、0.0007 ②原水口、定量下限未満	砒素毎月調査開始 緊急水銀調査4箇所 水銀検出値は定期観測口
	19.2.20	0.029	0.012	①定期観測口 0.0007 ②原水口 0.0007 ③青谷川合流点前後とも定量下限未満、	第4回定期検査
	19.3.8	0.030	0.012	①定期観測口 0.0008 ②原水口 0.0008 ③青谷川合流点前後とも定量下限未満、	砒素毎月調査 緊急水銀調査4箇所
平19年度	19.4.13	0.046	基準値未満(0.008) 青谷川 定量下限未満		砒素毎月調査
	19.5.25	0.011	基準値未満(0.008)	①定期観測口 0.0006 ②原水口 0.0006 ③青谷川合流点前後とも定量下限未満	砒素・水銀毎月調査
	19.6.27	0.035 調整池(1): 定量下限未満 調整池(2): 基準値未満 (0.005)	定量下限値未満 青谷川合流点: 定量下限未満	①定期観測口 0.0007 ②原水口 0.0008 ③青谷川合流点前後とも定量下限未満	第1回定期検査

地下水モニタリング調査の経時変化(1)

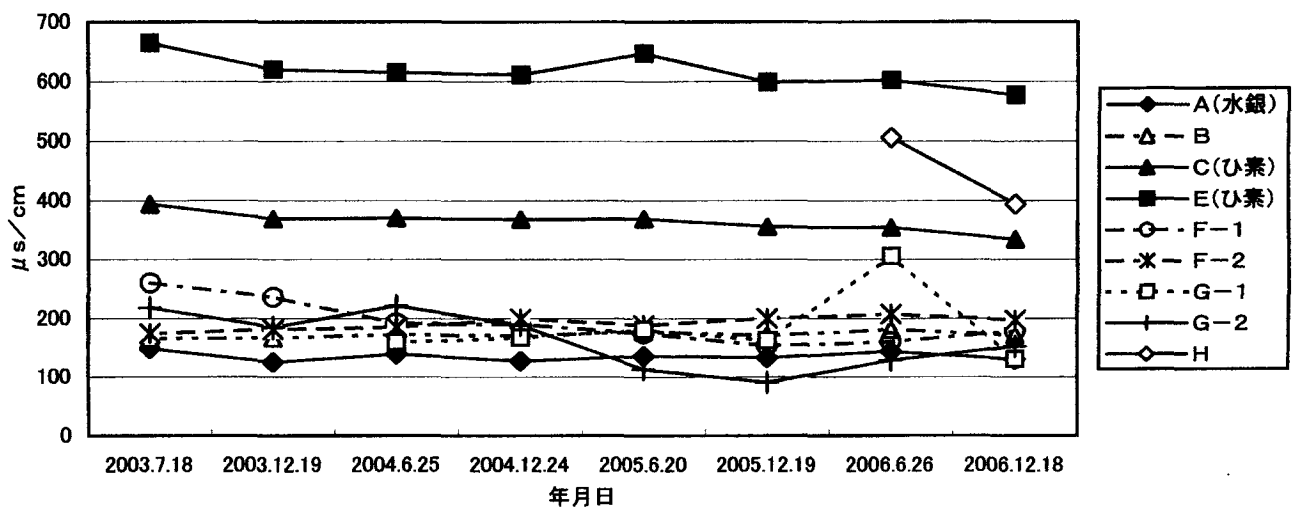
塩素イオン濃度の推移



硫酸イオン濃度の推移

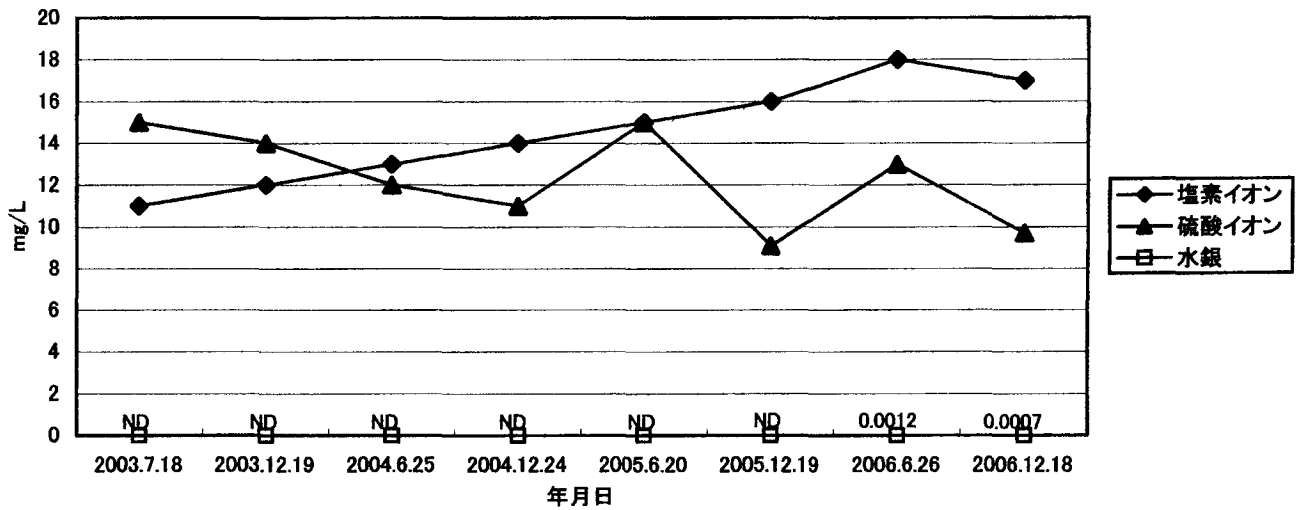


電気伝導度の推移

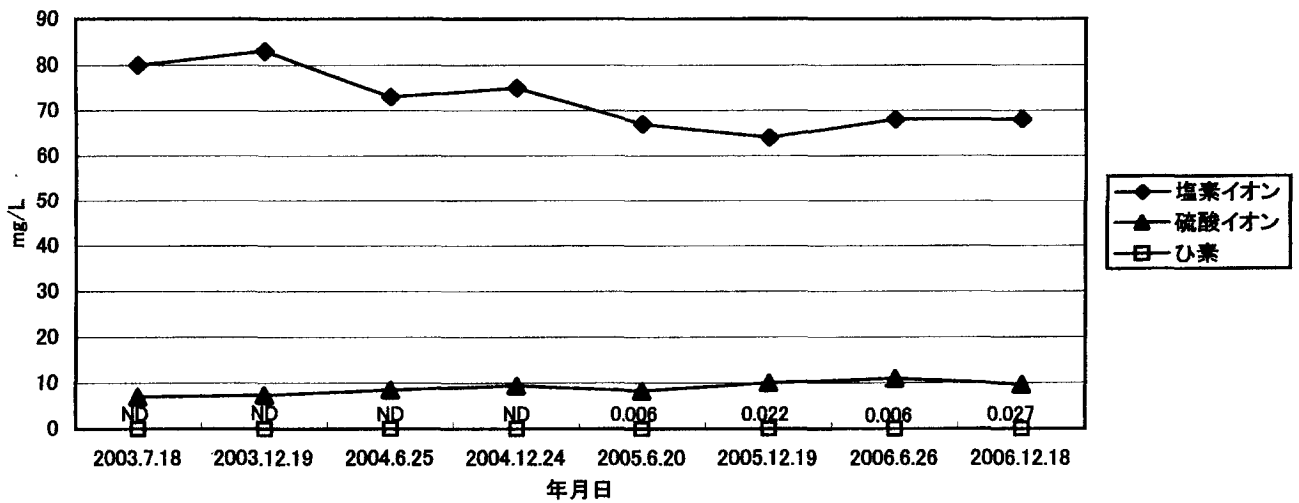


地下水モニタリング調査の経時変化(2)

A事業所(水銀検出)における水質の推移



C事業所(ひ素検出)における水質の推移



E事業所(ひ素検出)における水質の推移

